

令和3年度 第1回高砂市環境審議会会議記録

日時 令和3年7月21日(水) 13時30分から15時15分まで

場所 高砂市役所南庁舎2階特別会議室

出席者 委員：島 正之(会長) <<WEB>>  
山崎 裕康(副会長)  
大西 淳二 <<WEB>>  
鈴木 道隆  
澤田 佳宏 <<WEB>>  
稲富 恭 <<WEB>>  
松岡 智郁  
砂 伊佐子  
事務局：(生活環境部長) 谷井 寛  
(生活環境部環境経済室長) 砂川 佳寛  
(生活環境部環境経済室環境政策課長) 栗林 広知  
(環境政策課環境計画担当主幹) 畑 敬二

欠席者 委員：青田 テル子  
森本 成治

会議日程

- 1 はじめに
  - (1) 市長あいさつ
  - (2) 会長あいさつ
  
- 2 議 題
  - (1) 会議の公開について
  - (2) 会議録署名委員の指名について
  - (3) 第2次高砂市環境基本計画改訂の諮問について
  - (4) ゼロカーボンシティ宣言について
  - (5) 第2次高砂市環境基本計画の現況と課題について
  - (6) 第2次高砂市環境基本計画改訂の骨子案について

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>(開会)</p> <p>○開会あいさつ</p> <p>○資料確認、本日の議題について説明</p> <p>委員の紹介になりますが、4月から、2名、東播磨県民局環境課長の松岡様、加古川労働基準監督署長の砂様を新たに委嘱させていただき委員になっていただいています。よろしくお願ひします。</p> <p>本日の欠席委員は、青田委員、森本委員の2名になっております。よって、過半数のご出席により、高砂市環境審議会規則第3条第2項の規定により、会議が成立することをご報告いたします。</p>
1 はじめに	
(1) 市長あいさつ	
事務局	はじめに、高砂市長よりごあいさつを申し上げます。
市長	○あいさつ
(2) 会長あいさつ	
事務局	ここから、議事の進行を島会長にお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひします。
会長	○あいさつ
2 議題	
(1) 会議の公開について	
会長	<p>議題1 「審議会の会議の公開について」です。</p> <p>「高砂市審議会等の会議の公開に関する指針」では、会議を公開することで開かれた市政の推進を目的としており、この環境審議会についても、この趣旨から公開としたいと思ひます。</p> <p>本日の傍聴の申し出はございますか。</p>
事務局	本日の傍聴はございません。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
(2) 会議録署名委員の指名について	
会長	次は議題2です。会議録署名委員を指名させていただきたいと思います。「高砂市審議会の運営に関する規程」の第7条第2項により、会議録の署名委員は、会長と会長が指名する委員1名となっております。この会長が指名する委員は、確か持ち回りをお願いしていたと思いますが、今回はどなたにお願いしたらよろしいでしょうか。事務局の方でご提案いただけますでしょうか。
事務局	今回は稲富委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
委員	了解しました。
会長	それでは、稲富委員に署名委員をお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。
(3) 第2次高砂市環境基本計画改訂の諮問について	
会長	次に、議題3「第2次高砂市環境基本計画改訂の諮問について」、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料5をお願いします。平成28年度に策定しました「環境基本計画」の改訂について、環境審議会に諮問をさせていただきたいと存じます。なお、本日はWEB会議でもございますので、市長より諮問を読み上げさせていただけるようになりますが、よろしくお願ひします。
市長	○市長より諮問書の読み上げ
会長	承りました。
(4) ゼロカーボンシティ宣言について	
会長	次に、議題4に移ります。「ゼロカーボンシティ宣言」について、資料6だと思いますが、ご説明をお願いします。
事務局	資料6をご用意ください。内容について、市長よりご説明をさせていただきます。

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
市長	<p>近年の異常気象については、地球温暖化が原因と言われており、本市においては、3月定例会市議会において、「気候非常事態宣言」が決議されました。そして、本市の「ゼロカーボンシティ宣言」については、昨日、市議会の建設環境経済常任委員会において資料6でお示しをしている「宣言（案）」について審議いただきました。本日、この「宣言（案）」について、委員の皆様のご意見をいただいた後、来週には記者会見を開いて宣言する予定にしております。また、この宣言内容については、環境基本計画に盛り込んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。それでは「宣言（案）」について読み上げさせていただきます。</p> <p>○市長より「高砂市ゼロカーボンシティ宣言（案）」の読み上げ</p>
会長	<p>ただいまご説明いただきました、「ゼロカーボンシティ宣言（案）」の内容について、ご意見やご質問がありましたらお願いします。</p>
会長	<p>私から一つお伺いしたいのですが、中ほどより少し下の「エネルギー転換・産業部門における二酸化炭素排出量が全国平均の2倍近い約80%」とありますが、全国平均の2倍というのは、二酸化炭素排出量のエネルギー転換・産業部門における割合という意味でしょうか。</p>
事務局	<p>二酸化炭素排出量のエネルギー転換・産業部門、その割合が、高砂市においては80%と高い割合を示しております。全国平均ですと約43%であり、高砂市は、産業部門の二酸化炭素排出量が多く、産業部門の対策をしていかなければならないという認識を持っております。</p>
会長	<p>二酸化炭素排出量の「割合」と入れていただいた方が分かりやすいのではないかと思いますのですが。これだと、量が2倍だと読めてしまうのではないかと懸念しました。</p>
委員	<p>高砂市は工業都市ですが、他の工業都市、例えば四日市市等のエネルギー転換・産業部門における二酸化炭素の排出割合というのは、全体の二酸化炭素の量のどの程度なのでしょう。全国平均だと全部均しているはずなので、工業都市の平均ではないですね、ここで比較しているのは。例えば、工業都市でないところではもっと低いと思うので、一律に均して良いものかどうか、私はちょっと疑問に思うの</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>ですが、いかがでしょうか。</p> <p>今、ご指摘のありました、他の工業都市についてはどうなのかということですが、ここでは本市の特徴ということでお示ししたかったので、こういう表現をさせていただいています。ただ、ご指摘いただいた、例えば四日市市あるいは、県内の例えば尼崎市はどうなのかということは、今の時点では比較はしておりませんが、本市の特徴を示したいという思いで、全国平均の2倍という表現をさせていただいたものでございます。</p>
委員	<p>工業都市の平均と比べてどうかというのは、ある程度お持ちいただいた方がやはり良いかと思えます。</p>
事務局	<p>情報としては、把握したいと思えます。</p> <p>先ほど、会長からご指摘いただきました、二酸化炭素排出量の後に「割合」と入れてはどうかということですが、そのようにさせていただきたいと思えます。</p>
会長	<p>今年も梅雨明けとともに猛暑が続いておりますし、今月の初めにも熱海で大きな災害がございました。そういうところからも非常に重要な課題だと思えますので、高砂市としてこういう宣言を発出するというのは、極めて大切なことだと思えます。</p>
市長	<p>「割合」という表現を入れさせていただき、宣言をさせていただきたいと思えます。ただこれは、宣言だけではだめだと思っております、やはり、具体的にこれから市としてどういうことを施策の中に入れていくのか、また臨海部の各企業とも連携をしながら進めていくということが大変重要だと考えておりますので、先生方にもまたアドバイスもいただきながら進めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>それでは、この内容で宣言していただいて、そのあとの取組についても、<u>今後</u>この審議会の中で議論していければと思えます。</p>
事務局	<p>資料の説明だけさせていただきます。資料7に環境省が示しております「地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法と実現方策に係る参考資料」をつけ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
会長	<p>ています。高砂市においても宣言した後にどのように取り組んでいくかということで、この環境省の資料にもありますように、省エネルギーの徹底、エネルギーの脱炭素化、新エネルギー、太陽光発電や再生可能エネルギーの導入など、それから廃棄物の削減が示されておりますので、それらも参考に今後取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>もう一点、この宣言についてですが、環境省のホームページにゼロカーボンシティ宣言をした自治体が掲載されています。高砂市におきましても、環境省に連絡させていただき、宣言後にホームページに掲載される予定をしております。</p> <p>是非そのようにしていただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>それでは、市長につきましては、この後公務がございますので、ここで退席させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
(5) 第2次高砂市環境基本計画の現況と課題について	
会長	<p>次は議題5、環境基本計画の現況と課題について、事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>○資料8「環境基本計画改訂スケジュール、市民・事業所アンケート概要」、資料9「市民アンケート調査」、資料10「事業所アンケート調査」、追加資料「市民・事業所アンケート作成時における環境審議会委員の意見及び対応」について説明</p>
会長	<p>それでは、資料8について、改訂作業のスケジュールと、資料9、10の市民アンケート、事業所アンケートについて事務局の方からご説明をいただきました。またアンケートについては、事前に委員の先生方からご意見をいただき、それに合わせて修正していただいた内容についても資料に示していただきました<u>いとこのこと</u>です。ここまでのところで、何かご意見やご質問等ありましたら、お願いします。</p>
会長	<p>確認ですが、このアンケートはすでに発送済みということですね。</p>
事務局	<p>月曜日（7月19日）に発送しております。</p>
会長	<p>わかりました。締め切りが8月10日ということになっているようです。多くの方にご協力いただければと思います。何かご質問ございませんでしょうか。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>特にないようですので、そのあとの「環境基本計画の現況と課題」についてもご説明いただいた後で、またご意見を伺いたいと思いますが、よろしいでしょうか。よろしく願いいたします。</p> <p>○資料 11「環境基本計画の現況と課題」について説明</p>
会長	<p>ただ今説明していただいた「環境基本計画の現況と課題」について、ご質問やご意見ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>お伺いしたいことが 2 点ほどあります。ひとつは、3 頁の指標の達成状況のところ、「住宅用太陽光発電設置戸数」の現状が非公開になっているにもかかわらず、評価を○としておられるのはなぜなのか。非公開だが、戸数を把握しておられるということなののでしょうか。もう一点は、5 頁のところ、ごみ量の推移のところを見ますと、リサイクル率が平成 30 年から急に上がっていますが、ここで何があったのかご説明がなかったかと思います。わかりましたら教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>太陽光発電の設置戸数については、件数は非公開としていますが、事業者から戸数の報告はいただいています。</p>
会長	<p>リサイクル率についてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>リサイクル率については、即答できるものがございませんので、調べさせていただいて、ご報告させていただければと思います。</p>
委員	<p>自然環境のページのところ、毎回申し上げているところですが、環境の現況のところ、「生物多様性の保全」として、わりと良い活動をしているものをここで紹介されているのだと思うのですが、毎回、「鴻ノ池の流水路でのヘイケボタルの幼虫の放流」というのが出てまいります。生物の多様性保全を考えると、放流というのは時代遅れと言いますか、非常に問題を含みます。ここの場合、地元産の系統を使って行っているということで、その意味では、大丈夫なやり方をされているようなのですが、ただ、良い活動をしているというアピールとしてここに出すとしたら、幼虫を放流しているということを毎回書いているということは、定着できていないという意味でもあり、ちょっとおかしい。以前お話を聞いたら、ホテルが棲める環境づくりも行っているということをおっしゃっていたので、むしろここでは、「ヘイ</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>ケボタルの生息可能な環境の復元を行っている」ということを書くべきであり、放流がメインであるような書き方をするのは違うのではないかと思います。</p> <p>放流すればよいというものではないと認識しております。環境の現況ということで記載していますが、今後、環境基本計画を作成する中で検討していきたいと考えております。</p>
委員	<p>よろしくお願いします。ずっと放流しているというのは、本当はおかしいです。きちんと環境が復元できて、ホタルが定着できたのならば、放流はどこかでやめることができるはずなので、いつまでも放流しているというのは、活動の方向が違うということを地域の人にも、市の環境の人にも認識していただいた方がよいと思います。</p>
事務局	<p>今後、環境基本計画を作成する中で、そのあたりについても検討していきたいと思えます。</p>
会長	<p>委員からは以前の審議会でも<u>同じ同様の</u>ご意見をいただいておりますが、この環境基本計画の改訂で、また何度かご意見をうかがう機会があると思えますので、その際にぜひご指導いただければと思います。</p>
会長	<p>他にはいかがでしょうか。</p>
会長	<p>指標の達成状況の評価としての○×ですが、表の下の説明は、○は目標を達成できている、×は目標を達成できていないということですので、<del>二の</del>○がついている項目については全て、方向性だけではなくて目標となる数値を達成できたということによろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>4年前に策定した今の環境基本計画ですが、この指標は数値目標を示しているのではなく、望ましい方向性というのを指標としております。これについては、単に方向性だけでいくと評価しにくいところも出てきており、これまでの審議会の中でも、例えば、工場・事業場立入における規制基準適合率など、単に望ましい方向性だけではなくて、数値で示せるものは数値で示すべきではないか等、指標についてはこのままではなく、考えていかなければならないと思っております。</p>



議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
会長	<p>先ほどのご質問ですが、望ましい方向性が上向きであれば、数値が増えていれば評価が○、そうでなければ×という評価の仕方になっております。</p> <p>わかりました。目標が方向性だけであったということですので、達成状況の表現の仕方としてはこれで問題ないかと思えます。また、目標を<u>どうどのように設定</u>するかということについても、今後の改訂作業の中で検討していただきたいと思えます。</p>
委員	<p>環境学習のところでお尋ねしたいことがあります。「環境理解の推進」ということでいくつかの活動が紹介されているのですが、この中で、「高砂海浜公園の漂着アオサ清掃活動」というのが書かれておりまして、この漂着アオサの清掃活動というのは、どういうことを目的として行っているものなのかということをお教えしていただきたいのですが、</p>
事務局	<p>高砂海浜公園という県立の砂浜がございます。ここは、以前は海水浴もしていたのですが、今はされていません。資料にも「アオサ清掃」という写真がありますが、この砂浜は円状になっており、海との境が非常に狭くなっています。潮の満ち引きがありましても海流が停滞するような形状であり、そこでアオサが非常に発生するといった状況になっております。そのままにしておくと、悪臭を放つというような影響もありますので、ボランティアと市も協力しながら、アオサの回収をしているという活動です。</p>
委員	<p>わかりました。おそらく、海水の入れ替えが起こりにくいような構造になっている入り江で、湾内が少し富栄養な状態なのではないでしょうか。その結果として、尋常ではない量のアオサが出るような、そういうイメージですかね。通常の高砂とは違うような大量のアオサが出てくるのでこういうことをやっているということですね。それでしたら、わかりました。よく海岸清掃の時に、そこにあるものを何でもかんでも拾ってしまうという活動があるのですが、本来、自然の海岸だと漂着海藻というのはあるものだし、漂着海藻に依存して生きている生物群もあるので、漂着海藻を取り除くという行為は必ずしも環境保全にかなった活動ばかりではないのですけれども、この場合はそういう特殊な状況があるということで了解いたしました。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
(6) 第2次高砂市環境基本計画改訂の骨子案について	
会長	議題6の「環境基本計画改訂の骨子案について」のご説明をいただき、また委員の先生からのご意見をいただきたいと思いますのでよろしく願いいたします。
事務局	○資料12「環境基本計画改訂の骨子案について」について説明
会長	ただいまのご説明、資料について、ご質問やご意見ありましたらお願いします。
委員	<p>3頁目で4点ほど意見がございます。まず、施策の方向性の「低炭素型まちづくりの推進」ですが、基本目標として「脱炭素社会」ということを挙げておきながら、まだここで「低炭素」という言葉を使っている。確かに目標がこれからの5年ということで、急に脱炭素には進まないが、やはり、2050年ゼロをめざすというからには、相当な覚悟を持って取り組まなければならないというところもありますので、例えば、「低炭素から脱炭素へ向けてのまちづくりの推進」等、「脱炭素」という言葉を入れたほうがいいのかと思います。</p> <p>続いて主な施策で、ここに掲げていただいている項目の中に溶け込んでいるのかもしれないのですが、キーワードとして入れていただけたらと思うのが3つほどあります。一つ目が「地域循環共生圏の創出」です。1頁の計画改訂の方向性のところでも、「国の第五次環境基本計画で地域循環共生圏の創造を目指しています」ということに触れておられるので、これについてはどこかに盛り込んでいただけたらと思います。県の計画の方でも、温暖化対策の実行計画でも「地域循環共生圏の創出」というのは、一つの大きな項目として掲げていっておりますので、ご検討いただけたらと思います。二つ目は、言葉はまた考えていただけたらと思いますが、吸収源をどう考えるかということです。2050年ゼロというのは、排出量だけでゼロというのは無理であり、実質ゼロというのは、排出で取り切れない分、どうしても排出を止められない部分というのは、森林等による吸収をもって、ネガティブの部分で、プラスマイナスでゼロにしましょうという考え方ですので、主な施策の中に緑地の推進や保全についても書いていただいているので、ここに入ってくるのかもしれませんが、そういった吸収源を、吸収量を増やすこともご検討いただけたらと思います。最後に三つ目ですが、災害廃棄物です。この処理、適正処理の推進ということをどこか触れていただけたらと思います。廃棄物の減量と再資源化や、気候変動への適応などの項目があるので、どちらかに入るのはないかと思いますが、これについてご検討いただけたらと思います。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>最後、一つ確認ですけれども、1 頁目の一番左下が途切れているように見えるのですが、何か下に項目はないですか。ご確認をお願いいたします。以上です。</p> <p>「脱炭素型」という基本目標の中で、施策のところは低炭素ということになっていますので、今ご指摘いただきましたような形で作成していきたいと思います。</p> <p>また、主な施策として、3 点お聞きした点につきましても、取り入れてまいりたいと思います。</p>
エヌエス環境	<p>エヌエス環境と申します。「協働」の後ですが、その他ということで、新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式の実践例というのが国の方からも出されておりますので、そういうことに対応していくようなことが、社会の動向としても必要ではないかということで記載をさせていただいていたのですけれども、紙面の関係で切れてしまっております。大変失礼いたしました。</p>
事務局	<p>ここ文字が切れておりますので、また、修正いたしましてお示しさせていただきたいと思います。</p>
委員	<p>2 点ほどあります。ひとつが、「基本理念（案）」のところで、SDGs との対応を網羅的に挙げておられるが、今、SDGs のウェディングケーキモデルというのがあり、17 の目標の中でも全体の目標を支えるような、環境を守るための 4 つの主要な目標があり、その上に社会の目標、経済の目標というのがあって、最後の協働というのを支えるというようなウェディングケーキモデルというのがあります。今、いろいろな自治体の環境基本計画等で、それぞれの自治体ごとに、それを少しアレンジしたような地域版のウェディングケーキモデルを作られたりしているようなので、ここでもそういうのを考えられてはどうかと思います。特に、環境ということで重点的にすべきことが何なのかということがイメージ的に明確化されるのではないかと思います。</p> <p>もう一つが、3 頁目の施策の方向性、主な施策と挙げられており、「水と緑の保全」のところで、緑地の保全、ため池の保全、農地の保全といったことが掲げられてはいるが、良い環境を守るためには、ため池ならどこのため池でも守れば同じくらいの効果があるかということ、そんなことはなくて、良い所をきっちり守る必要があるのではないかと思うので、ここで掲げている、ため池とか緑地とか 5 つほど挙がっていますが、もう一つ「健全な生態系の保全」といった文言があってもいいのでは</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	<p>ないかと思いました。</p> <p>それと、「生物多様性」に関する主な施策の中で、高砂市さんの方でまだ考えておられないのかもしれませんが、生物多様性地域戦略の策定というのは、必要な項目ではないかと思っております。</p> <p>SDGs の取組のところですが、今ご指摘いただいたものにつきまして、検討していきたいと思えます。</p> <p>ため池についてですが、この「水と緑の保全」における「健全な生態系の保全」につきましても、今後の施策としてできるだけ入れるような形で考えていきたいと思えます。</p> <p>「生物多様性地域戦略」につきましては、高砂市では、戦略を策定するというところは、今のところ考えていないのですが、今後検討していきたいと思えます。</p>
委員	<p>上から 3 つ目の「景観の保全」のところに「空き地・空き家への対応」という項目がありますが、高砂市の今後の人口予想や、今の空き家の増加等を見ますと、今後かなり空き家が出てくるだろうと考えられるのですけれども、「景観の保全」という意味だけではなくて、どちらかというところ「低炭素型まちづくりの推進」ということで空き家の利活用について考えていく必要が、今後出てくるのではないかと思えます。今、「低炭素型まちづくりの推進」の中に「省エネルギー行動（環境配慮住宅）の促進」という項目がありますが、ここにできたら「空き家の利活用」といった項目があってもいいのではないかと感じました。</p>
事務局	<p>「空き家の利活用」というのが「低炭素型まちづくりの推進」というところの主な施策として取り組んでいくべきではないかというご意見がございましたので、確認しながら、検討してまいりたいと思えます。</p>
委員	<p>先ほどの、「高砂市ゼロカーボンシティ宣言」のところを見ると、二酸化炭素の排出量のエネルギー転換・産業部門の割合が全国の 2 倍の 80%になっているということですが、この「低炭素型」のところ、エネルギー転換・産業部門に関する施策というのは、どの辺に入っているのでしょうか。「地球環境」の中のどこかにあるのではないかと思ったのですが、ちょっとよくわかりません。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
事務局	工場と事業所、産業部門、エネルギー転換部門が80%という、ここを取り組んでいかなければ、高砂市としてCO <sub>2</sub> は減らないというような現状でございます。そこで、これをこの「地球環境」の中のどの取組でいくかですが、まず、省エネルギーの推進、徹底した省エネルギーの推進というのがあります。それから、再生可能エネルギーの導入というのがありますが、高砂市の場合、再生可能エネルギーを考えた中で、風力等については、現状ではなかなか難しい中で、太陽光発電を利用した再生可能エネルギーの導入等が考えられます。そして、各企業についてですけれども、高砂市には大手企業が浜手の方に多くありますので、今後この企業と連携しながら、この中でいいますと省エネルギーや、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー行動の推進等がありますし、この「低炭素型まちづくりの推進」の中にも事業所としてのやるべきこと等がありますので、今後環境基本計画を作成していく中で、どこまで書けるかはありますが、入れていきたいなと思っております。
委員	わかりました。そこが高砂市にとっては一番メインのところかなと思ったものですから、質問しました。
会長	他はいかがでしょうか。よろしいですか。  先ほどご説明いただいた資料8の改訂スケジュールとの関係でお伺いしたいのですが、7月から8月にかけて市民アンケート、事業所アンケートを実施していただいて、それも踏まえて、今後改訂の原案を作成していただくという流れでよろしいのでしょうか。
事務局	今、会長がおっしゃられたとおり、アンケートが8月10日締め切りとなっておりますので、市民の意識調査について、これまでの意識と現在の意識とといいますか、5年前のアンケートの結果と比較しながら、また、今ある課題について参考にしながら原案を作成していきたいと考えております。
会長	このスケジュールの6番にあります「計画の推進体制の構築」のあたりを少し具体的にご説明いただけますでしょうか。
事務局	計画の推進体制につきましては、今の環境基本計画においても推進体制というのがあります。これについては、実際に計画を立てた後、どのように推進していくか、

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
会長	<p>いわゆる PDCA ですね、計画を立てた後、実施し、チェックして見直していくという体制について、改めて考えていくということでございます。</p> <p>わかりました。このスケジュールでいきますと、次回の環境審議会が 9 月ということになっています。あまり時間的な余裕もないかと思うのですが、9 月には原案が提示されるということでもよろしいですか。かなりタイトなスケジュールではないかと思ったのですが。</p>
事務局	<p>非常にタイトなスケジュールでございますが、このペースでいかないとパブリックコメントまでに間に合いません。まず原案を示させていただいて、審議会の先生のご意見をいただくことを考えると、どこまで書ききれるかはわからないのですが、9 月くらいには原案を作成し、お示しさせていただいて、ご意見をいただきたいと思えます。審議会の先生方には、非常に多忙なところではありますが、よろしく願います。</p>
会長	<p>今回は 9 月に原案を提示していただくということなのですが、それに向けて、今回お示しいただいた骨子案についてご意見がありましたら、今出していただければ、それも含めてご検討いただけたらと思いますので、委員の皆様からご意見ございましたら、是非お願いしたいと思います。いかがでございましょうか。</p> <p>特に他にございませんでしょうか。</p> <p>特に他にご意見ないようですので、本日、この骨子案について、多くの先生方からご意見をいただきました。そのご指摘等も踏まえて、事務局の方で原案の作成に活かしていただければと思いますので、是非ともよろしくお願いいたします。</p> <p>これで、この議題については、終わりとさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
会長	<p>それでは、本日本日予定していた議題は以上でございますが、そのほかに事務局の方で何かございますか。</p>
事務局	<p>また 9 月に環境審議会を開催して、原案についてご審議いただきたいと思っております。今回の審議会につきましては、資料のご提示が直前になってしまうなど、</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 の 要 旨
会長	<p>ご迷惑をおかけしました。申し訳ございません。次回はできる限り早めに資料をお示しさせていただき、余裕を持って進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。また、日程調整等させていただきたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>資料8に示されているように、このあと、9月、11月、2月と年度内に審議会が続けて開催されることになるよう<u>です</u>ので、委員の先生方、ご負担をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。また、事務局の方も、環境基本計画の改訂に向けて、大変だと思いますが、良い計画ができるようにご尽力いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>他に何かご発言はありますでしょうか。</p> <p>特にご質問やご意見がなければ、本日の審議会はこれで終了とさせていただきたいと思っております。WEBの会議で、進行が不慣れなものですから、色々ご迷惑をおかけしたと思っておりますが、何卒ご容赦ください。</p> <p>それでは、これで終わりとさせていただきます。皆様長時間の会議、お疲れ様でした。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>

令和 3年 9月 8日

署名委員 島 正之

署名委員 稲富 恭